



能登教区通信

このたび、標記通信2019年3月号を発行いたしましたので、ご一読のほどお願い申し上げます。

発行責任者 真宗大谷派 能登教務所長 篠原 亨栄

教区教化事業のご案内

◆教区男女平等参画推進事業 同朋社会推進協議会・教区坊守差別問題研修会◆

- ・ 日 時 2019年3月7日(木) 午後1時30分～4時30分
- ・ 会 場 能登教務所(済美精舎)
- ・ 講 題 お寺における男女平等とは？
～『人権問題についての意識・実態調査集計報告書』から見えてきたこと～

◆和讃研修会(第2回)◆ 研修部門

- ・ 日 時 2019年3月8日(金) 午後1時30分～4時30分
- ・ 講 師 藤場 俊基 氏(金沢教区 常讃寺)
- ・ 内 容 『高僧和讃』に学ぶ
- ・ 持ち物 『真宗聖典』、念珠、間衣・輪袈裟(有僧籍者)、筆記用具等
- ・ 参加費 500円
- ・ 備 考 どなたでもご参加いただけます。また、教師陞補第1種認定の講座となります。

◆歎異抄講座(第2回)◆ 研修部門

- ・ 日 時 2019年3月13日(水) 午後1時30分～4時30分
- ・ 講 師 山田 恵文 氏(大谷大学准教授)
- ・ 内 容 『歎異抄』
- ・ 持ち物 『真宗聖典』、念珠、間衣・輪袈裟(有僧籍者)、筆記用具等
- ・ 参加費 500円
- ・ 備 考 どなたでもご参加いただけます。また、教師陞補第1種認定の講座となります。

◆こころの広場◆ 同朋会推進部門

- ・ 日 時 2019年3月16日(土) 午後2時～4時
- ・ 講 師 志武 勲 氏(大聖寺教区専光寺)
- ・ 講 題 道を求めて
- ・ 参加費 500円

◆教区部落差別問題研修会◆ 同朋社会推進協議会

- ・ 日 時 2019年3月19日(火) 午前10時～午後3時30分
- ・ 講 師 二俣 和聖 氏(第11組 聖安寺)
- ・ 内 容 「同朋社会の顕現に沿う儀式」の可能性
- ・ 持ち物 勤行本、念珠、筆記用具等
- ・ 参加費 無料

- ・備考 教師陞補第1種認定の講座となります。
参加希望の方は、先月号同封のハガキにて3月11日(月)までにお知らせください。
また、昼食を希望される方は合わせてお知らせください。なお、昼食の当日申し込みはできません。

◆花まつり～小さなお手てを合わせましょう～◆ 青少幼年部門

- ・日時 2019年3月24日(日) 午前10時～正午頃
- ・対象 どなたでも
- ・その他 詳細は、同封の案内をご覧ください。有縁の皆様にご周知くださるようお願いいたします。
0～6歳のお子様を対象に「初参式」を行いますので、参加希望の方は、3月11日(月)までにお申し込みください。
また、お釈迦様と白象のぬりえを募集いたします。お預かりしたぬりえは済美精舎(能登教務所)での行事で展示させていただきます。お子様のおられる方はぜひご協力お願いいたします。(お預かりしたぬりえはお返しいたしません。)

◆春の子どものつどい◆ 青少幼年部門

- ・日時 2019年3月24日(日)午後1時30分～25日(月)午後2時頃(一泊二日)
- ・講師 野間 成之 氏(紙芝居実演家・のまひょうしぎの会代表)
- ・対象 新小学3年生から新中学3年生
- ・参加費 3,000円
- ・その他 詳細は同封の案内をご覧ください、3月11日(月)までにお申し込みください。

◆得度事前研修会◆ 研修部門

- ・日時 2019年3月29日(金)午前9時～午後6時、30日(土)午前8時30分～午後2時(2日間)
- ・講師 講話 禾几 文栄 氏※、竹津 篤義 氏 (※講師が変更になりました)
声明 伊賀 正道 氏、松下 文映 氏、藤井 良秀 氏、藤井 如子 氏、伊賀 頼成 氏
装束 藤井 良秀 氏、伊賀 頼成 氏
- ・対象 得度受式希望者
- ・参加費 3,000円
- ・その他 詳細は同封の案内をご覧ください、3月13日(水)までにお申し込みください。

◆宗教法人事務講習会◆ 能登教区過疎問題対策委員会

- ・開催期日・時間並びに会場
中能登地区 2019年4月16日(火) 能登教務所
奥能登地区 2019年5月15日(水) のとふれあい文化センター(鳳珠郡穴水町)
口能登地区 2019年6月 6日(木) 第3山方組光濟寺(志賀町代田)
いずれの期日も午後1時から受付、1時30分から4時まで講習の予定です。どの地区に参加されても結構です。
- ・対象 住職、代務者、坊守、寺族、門徒(責任役員・総代)
- ・参加費 無料
- ・内容 詳細は同封のチラシをご覧ください

◆真宗史講座◆ 研修部門

- ・日時 2019年4月22日(月) 午後1時30分～4時30分
- ・講師 木越 祐馨 氏(第5組 光琳寺)
- ・内容 近代能登教団の様相

- ・持ち物 『真宗聖典』、念珠、間衣・輪袈裟(有僧籍者)、筆記用具等
- ・参加費 500円
- ・備考 どなたでもご参加いただけます。また、教師陞補第1種認定の講座となります。

◆靖国問題研修会◆ 時代社会部門 詳細は来月の教区通信にチラシを同封します

- ・日時 2019年5月14日(火) 午後1時30分～4時30分
- ・講師 武田 未来雄 氏(真宗大谷派教学研究所所員)
- ・テーマ 大谷派がなぜ靖国を問題とするのか
- ・備考 どなたでもご参加いただけます。

◆教区同朋大会◆ 総合教化本部

教区同朋大会の日時等が決まりました。詳細は追ってお知らせします。

- ・日時 2019年6月2日(日) 午前10時～午後3時
- ・会場 能登教務所(済美精舎)
- ・テーマ つながりの再生—つながる喜び—
- ・講師 金森 俊朗 氏(石川県生まれ 上越大学・金沢大学非常勤講師)

◇大谷婦人会能登教区連合会主催 大谷婦人法話会◇

日時:2019年4月10日(水)午前9時30分～午後2時30分 講師:大窪康充氏(金沢教区)

◇坊守会一日研修会◇ 詳細は同封のチラシをご覧ください

日時:2019年4月24日(水)午前10時30分～午後3時 講師:讓 西賢氏(大垣教区)

教化事業・その他行事のご報告

◆教区新年互礼会◆

去る1月31日(木)に、毎年恒例の教区新年互礼会が、和倉温泉「のと楽」において開催された。南教区門徒会副会長の進行のもと、発起人の畠河教区会議長の挨拶に始まり、篠原教務所長、諸岡宗議会議員の挨拶と続き、大根参議会議員の発声により乾杯した。その後歓談中に佐々木宗議会議員、小藏参議会議員、岩田参議会議員からも挨拶があった。歓談中、参加者は各テーブルを回り、それぞれ懇親を深めていた。最後は同じく発起人の松岡教区門徒会長の中締め挨拶があり、会を終了した。当日は宗族・門徒合わせて89人の参加があった。



本山・教区事務についてのご連絡

◆平成30年7月豪雨(西日本豪雨)の救援金給付について◆

平成30年7月豪雨救援金につきまして、2018年12月末日をもって宗派受付が終了し、総額28,366,891円の救援金が宗派に寄せられました。

お寄せいただいた救援金は災害救援本部会議(2018年12月27日開催)において、特に甚大な被害のあった山陽教区に1,836万6,891円、四国教区に500万円、久留米教区に300万円、京都教区に200万円給付することが決定いたしております。(詳細は「真宗」4月号に掲載予定)

給付内容についてご報告申し上げますとともに、皆さまの温かいご支援に重ねて御礼申し上げます。

◇本山経常費完納寺院◇(2019.1.1～1.31迄)

2018年度本山経常費をご完納いただき、有難うございました。ここにご披露申し上げ、御礼に代えさせていただきます。

第1組	正誓寺	得生寺	極樂寺	第7組	真照寺	願誓寺
	西照寺			鵜川組	正覺寺	願慶寺
第2組	臨永寺	本行寺	長永寺	穴水組	慶樂寺	
	西教寺	碧流寺		第10組	永誓寺	
第3山方組	極應寺	照明寺		第11組	專慶寺	西方寺 真光寺
第4組	常德寺	長光寺	念乗寺	第12組	慶英寺	託善寺 明傳寺
	西岸寺	惠光寺	徳照寺	第13組	專徳寺	
第5組	應覺寺	光琳寺				

◇敬弔◇(教区通信2月号掲載以降)

御生前の御苦勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

第1組	極樂寺	住職	橋本 朝陽	2019年2月5日
第3山方組	徳満寺	前坊守	日野 隼子	2019年2月20日
第10組	慶信寺	住職	石井 昭二	2019年2月21日

◇おすすめ出版物の紹介◇

◇浄土真宗の葬儀◇

浄土真宗における“葬儀”とは一体なにか…。

本書は、形式化・習俗化の一途をたどる現代の葬儀に危機感をもつ僧侶・門徒の声にお応えして、発行されました。枕勤めから、納棺、通夜、葬儀、埋葬、中陰、そして年忌法要まで…、浄土真宗における葬送儀礼の本来の意味を一つひとつ丁寧に確かめながら、亡き人をご縁に教えに出会う、ほんとうの「浄土真宗の葬儀」とはどのようなものかを究明していきます。

葬儀の縮小化、略式化の進む今日だからこそ、伝統的な葬儀に興味や疑問をもつ方、そして葬儀を執行する僧侶の方にも是非お読みいただきたい、葬儀テキストの決定版といえる一冊です。

※本書は儀式作法の手引書ではありません。

《竹中智秀著／東本願寺出版版／A5判／160ページ／1,209円》



※この教区通信は能登教区ホームページよりPDFファイルでダウンロードすることができます。

適宜ご活用ください。

能登教区教化テーマ
能登教区教化スローガン
能登教区ホームページアドレス URL

ほとけさまに会いにきたいのち、今ともに生きよう
一人一人が親鸞聖人に向き合う生活を
<http://ohigashi-noto.jp/>